

営繕積算システム -RIBC2-

概要書（発注機関向け）



一般財団法人 建築コスト管理システム研究所

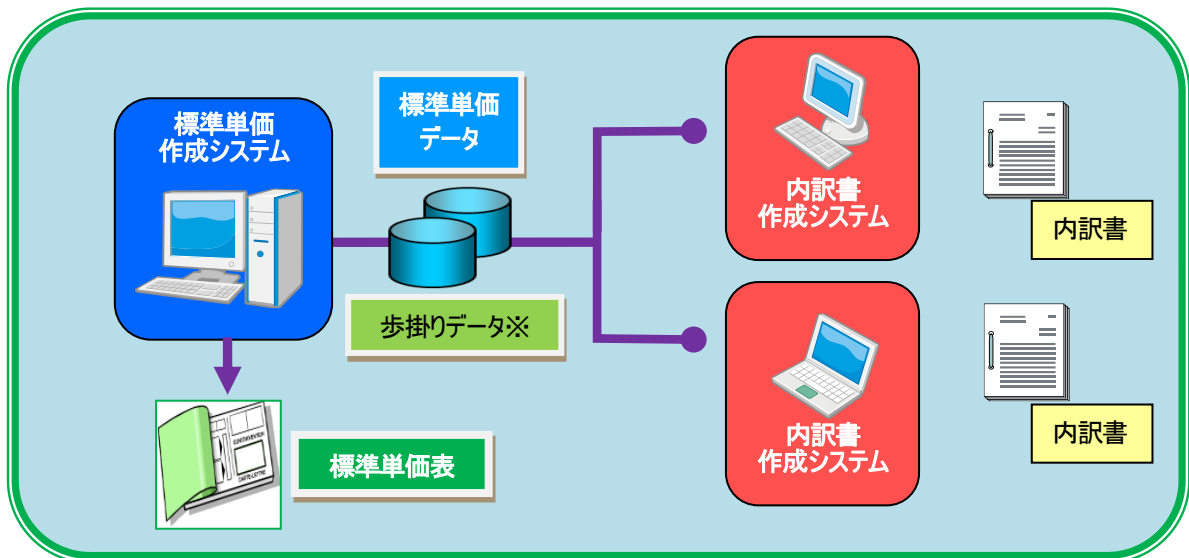
営繕積算システムの構成

■ システムの種別

営繕積算システム（RIBC2）は、標準単価作成システムと内訳書作成システムから構成されています。

- | | |
|--------------|---|
| ◆ 標準単価作成システム | 建築工事の設計積算に必要な「公共建築工事標準単価（複合・市場）」を計算し、単価表を作成します。改修や撤去の単価、市場補正単価も作成可能です。また、独自に歩掛りを作成、計算することも可能です。 |
| ◆ 内訳書作成システム | 作成された標準単価データ等を基に内訳設計書を作成します。別紙明細書、代価表の作成や見積単価の入力も可能です。また、共通費の基準等に対応した各種経費計算にも対応しています。 |

<システムの運用イメージ>



※ 必要に応じて内訳作成担当部署等に提供します。

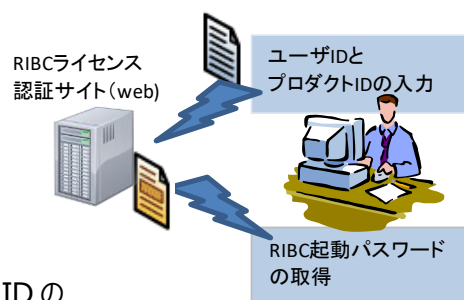
■ 提供されるもの

◆ 標準単価作成システム	<p>【提供データ】 ※1</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「公共建築工事積算基準」等に対応した歩掛りデータ • 「協議会歩掛り」データ ※2 • 「市場単価」用データ および「市場単価補正計算」用データ <p>【システム】 ※3・4</p> <ul style="list-style-type: none"> • 標準単価作成システム（+ 内訳書作成システム）
◆ 内訳書作成システム	<p>【システム】 ※3・4</p> <ul style="list-style-type: none"> • 内訳書作成システム 1 セット
◆ 共通	<ul style="list-style-type: none"> • ライセンス認証用 ユーザーID / プロダクトID
◆ オプション	<ul style="list-style-type: none"> • マニュアル（冊子） ※3

- ※1. **提供データ** 毎年度、改訂された最新のデータを提供します。契約年度内に追加や改訂等がある場合にもその都度、配布を行います。
- ※2. **協議会歩掛りデータ** 「営繕積算システム等開発利用協議会」で使用している歩掛りが収録されているデータです（協議会の会員には標準添付されます）。会員以外の公共機関版のユーザーは標準単価作成システムのオプションとして（別途契約）利用することができます。
- ※3. **マニュアル** システム媒体内に PDF 形式のマニュアルデータが収録されています。
- ※4. **システムアップデート** システムの機能追加や修正等がある場合にはその都度、配布を行います。

■ ライセンス認証

- ◆ システムを利用するには、ライセンス認証が必要です。
 - ▶ ライセンス認証を実行すると、パスワードが発番され、有効期限が PC に設定されます。
 - ▶ パスワードは各システムの起動時に入力します。また、有効期限が終了すると、システムを利用することができなくなります。
- ◆ ライセンス認証を行うには、システムに同梱されている「ユーザーIDのご案内」が必要です。
 - ▶ 「ユーザーIDのご案内」は、PC1 台に 1 枚必要です。1 ライセンスを複数の PC で同時に使用することはできません。
- ◆ 契約期間内に PC の機種改変等を行った場合は、ライセンスの再取得を行うことができます。ただし、旧 PC にてライセンスを解除し、新 PC で再取得を行います。



目的別導入システムガイド

RIBC2 で目的の作業を行う際に必要なシステムおよびデータの一覧になります。

作業目的	標準単価 作成システム
◆ 「公共建築工事標準単価（複合・市場等）」 を計算、作成、各種の印刷する	○
必要データ	歩掛りおよび必要な関連データ
◆ 独自の歩掛りを作成し、独自の標準単価を算出する	○
◆ 「協議会歩掛りデータ」を利用する	○
必要データ	協議会歩掛りデータ ※1
◆ 独自の単価をデータファイルの中に追加（内訳書で 利用）する	○
◆ 単価表を閲覧、印刷する	
必要データ	（貸与された）標準単価データ

作業目的	内訳書 作成システム
◆ 内訳設計書を作成する	○
必要データ	標準単価データおよび必要な関連データ
◆ 内訳書内で代価表を作成する際に、歩掛りデータを 参照または流用する	○※2
◆ 単価の計算根拠を閲覧する	
必要データ	（貸与された）歩掛りデータ
◆ 共通費の計算を行う	○
◆ 共通費の積上げ部分を入力する	○
◆ 出来高の設定、計算を行う	○

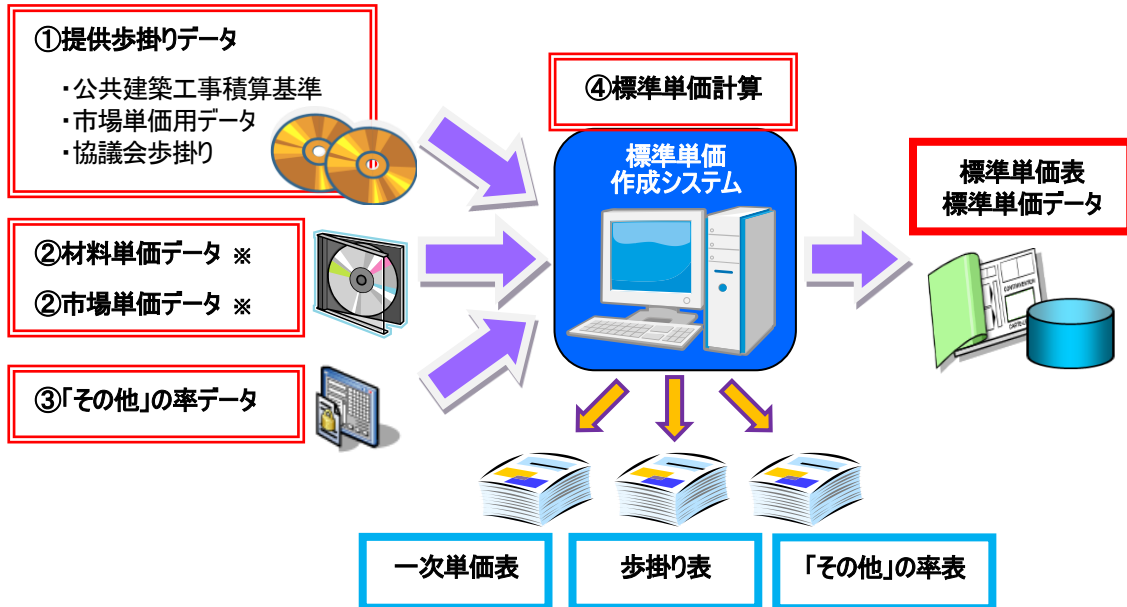
※ 1. 協議会会員には標準単価作成システムと同時に配布されます。会員以外の公共機関が利用する際には別途、オプション契約になります。

※ 2. 閲覧するには条件設定が必要です。また、セキュリティの設定により単価、金額が表示されない場合があります。

標準単価作成システムの機能

■ 標準単価の算出(計算)

提供された各種の歩掛りデータを使用し、計算に必要なデータを準備、作成して「公共建築工事標準単価」を算出します。

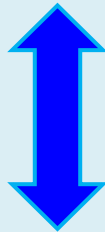


<計算の流れ>	① 計算に必要な提供歩掛りデータを準備
	② 一次単価データの作成 提供歩掛りデータより、使用されている単価データを基に材料単価※および労務単価を入力、作成します。 ※ 「RIBC 用材料（一次）単価データ」、「市場単価データ」として（一財）建設物価調査会、（一財）経済調査会が販売している専用データを読み込ませることも可能です。
	③ 「その他」の率データの作成 提供歩掛りデータより、使用されている経費率データを基に経費率を入力、作成します。
	④ 標準単価計算 ① 歩掛りデータ、作成した②一次単価データ ③「その他」の率データを使用して計算を行い、標準単価データおよび標準単価表を作成します。

■ 標準単価作成システムの画面イメージ

項目	標準単価	材料費	労務費	材料費	標準単価	備考	年月日	計算	出	品	単価	決定
すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて		12/31/25	12/31/25	12/31/25	12/31/25	12/31/25	12/31/25
仮設	仮設	仮設	仮設	仮設	仮設		12/31/25	12/31/25	12/31/25	12/31/25	12/31/25	12/31/25
仮囲い	仮囲い	仮囲い	仮囲い	仮囲い	仮囲い		12/31/25	12/31/25	12/31/25	12/31/25	12/31/25	12/31/25
仮設鉄板	仮設鉄板	仮設鉄板	仮設鉄板	仮設鉄板	仮設鉄板		12/31/25	12/31/25	12/31/25	12/31/25	12/31/25	12/31/25
運搬	運搬	運搬	運搬	運搬	運搬		12/31/25	12/31/25	12/31/25	12/31/25	12/31/25	12/31/25

標準単価保守



歩掛り保守

一次単価保守

「その他」の率保守

補正率保守

計算条件保守

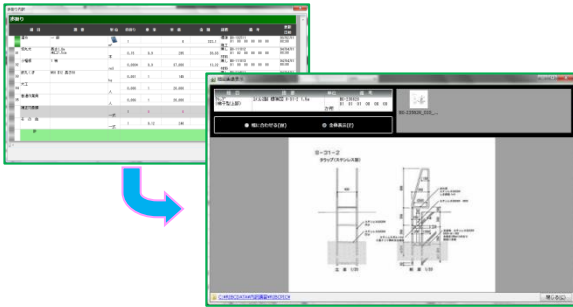
■ システムの特徴

標準単価作成システムには他に下記のような機能があります。

<各種データの保守機能>

-- 歩掛りデータの保守 --

- ▶ ユーザーが独自に策定した歩掛りを「個別歩掛り」として登録ができます。
- ▶ 指定した図表等を標準単価に関連付けし、参考として閲覧することができます。



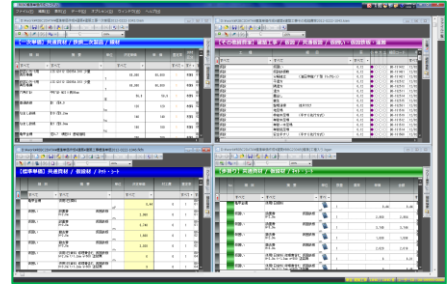
-- 一次単価データの保守 --

- ▶ 登録した一次（材料）単価の査定や、独自の単価の登録ができます。
- ▶ 単価の出典根拠や採用情報を画面で確認することができます。



-- 「その他」の率および補正率データの保守 --

- ▶ 単価計算時に使用する「その他」の率や改修単価の計算時に使用する補正率をそれぞれ一元管理することができます。



-- 経年比較（標準単価 / 一次単価） --

- ▶ 計算された標準単価や、登録された一次単価を経年で比較し、画面で確認することができます。また、印刷もできます。



< 計算機能 >

-- 市場単価の補正計算 --

- ▶ 市場単価の補正係数を計算し、率を乗じた市場単価の補正計算を行うことができます。

-- 改修単価や撤去費の計算 --

- ▶ 改修工事の際に使用する単価や、撤去の単価を計算算出することができます。

-- 各種データの独立 --

- ▶ 各種データが独立しているので、地区・ブロックや条件等を変更して計算する場合でも、当該のデータのみを変更すれば、指定した条件での単価計算が可能です。

<印刷機能>

-- 印刷設定（マトリクス形式 / 多地区印刷） --

- ▶ 標準単価表の印刷時に、施工単位毎に摘要の表示を自由に組合せることができます。また、複数地区を同時に印刷することができます。

<計算補助機能>

-- 計算条件の設定 --

- ▶ 単価計算時に、「計算は行うが、印刷はしない」、「金額丸めの適用をしない」等の各種設定を行い、データファイルとして保存利用することができます。

<その他の機能>

-- 外部出力 --

- ▶ 一次単価を外部にデータとして出力することができます。
※ 出力可能な単価には制限があります。

-- データのリンク --

- ▶ 関連しているデータは全て相互リンクしており、利用時の操作が容易です。

内訳書作成システムの機能

■ 内訳書作成システムの概要

「公共建築工事内訳書標準書式(建築工事編・設備工事編)」準拠した工種別の内訳書を作成することができます。

「公共建築工事共通費積算基準」に準拠した共通費等の経費計算を行うことができます。また、積み上げ方式、独自の率や計算式を用いることも可能です。

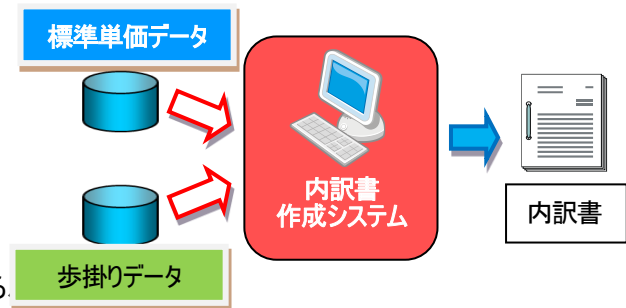
■ 内訳書作成システムの運用イメージと使用(参照)するデータ

- 標準単価データ

標準単価作成システムで作成された各種工事の複合単価や市場単価等のデータを参照し、内訳明細を登録します。

- 歩掛りデータ

必要に応じて、標準単価データと共に貸与され、システム内で歩掛りの内容を閲覧、引用しながら代価表を作成することが可能です。



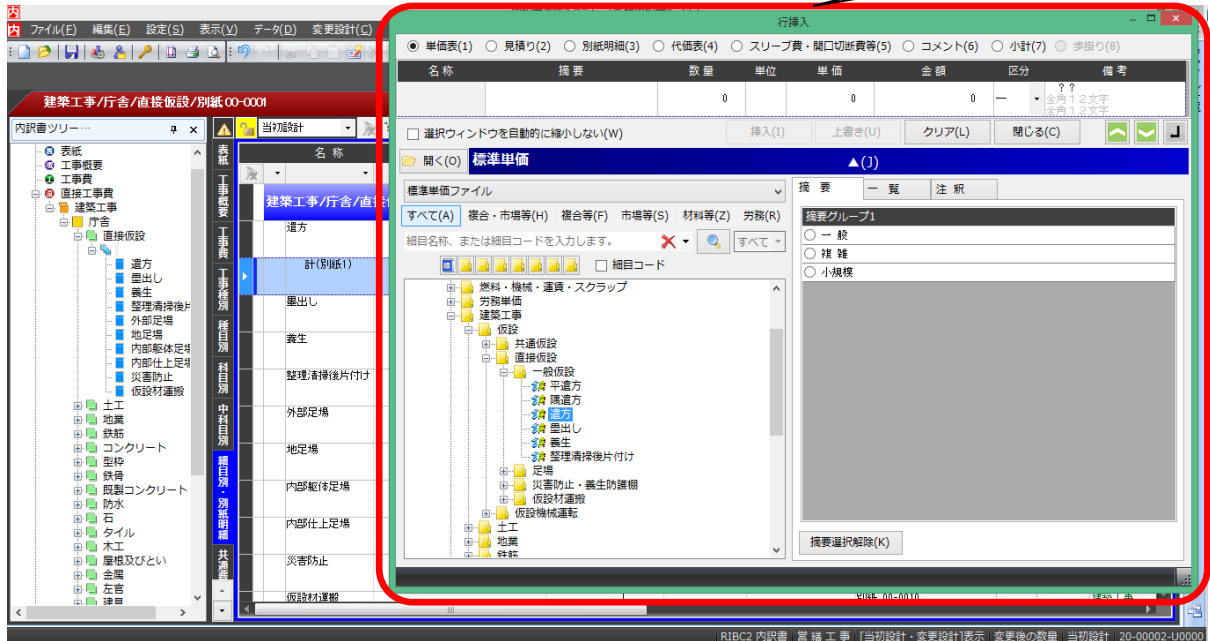
※データに関しては、都道府県が市町村等に対して、または上位機関が下部組織に提供を行っている場合があり、そのデータを使用することが可能です。

■ システムの特徴

「公共建築工事内訳書標準書式」に準じた内訳書を作成できます。

標準単価作成システムで作成された、公共建築工事積算基準等に準じた「標準単価データ」を参照し細目別内訳に入力、また引用したデータ以外の見積単価等は、直接入力ができます。

標準単価データ参照画面



「公共建築工事共通費積算基準」に準じた、経費計算が可能です。

内 共通費算定

原設計

共通仮設費 現場管理費 一般管理費等

名称	工期	直役工事費 ①	率 ②	増減率 ③	共通仮設費率(Kr) ④=②+③	補正係数 ⑤	補正係数 ⑥	共通仮設費 ⑦=①×④×⑤×⑥	上限	算定	下限
建築工事 新築工事	14.0	203,804,812	3.66	0.00	3.66	1.00	1.00	7,459,256	3.94	3.66	2.96
建築工事 新築工事 鉄骨工事	14.0	3,614,462	3.66	0.00	3.66	0.90	1.00	119,060	3.94	3.66	2.96
建築工事 その他工事		5,470,090	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	54,700			
小計 (率対象)		212,889,364						7,633,016			
建築工事 新築工事 共通仮設費(積上げ)		0						1,375,980			
小計 (率対象外)		0						1,375,980			
合計		212,889,364						9,008,996			
総計		212,889,364						9,008,996			

閉じる

< 内訳書作成システムの主な機能 >

-- 別紙明細書の作成 --

- ▶ 一式で計上した細目については、別紙明細書を作成して積み上げの根拠を登録することができます。

-- 代価表の作成 --

- ▶ 内訳書内で単価の作成の根拠として、材工の内訳や労務費と「その他」の率の登録をしたりすることができます。
- ▶ 歩掛りのデータをコピーし、内容を編集して作成することもできます。



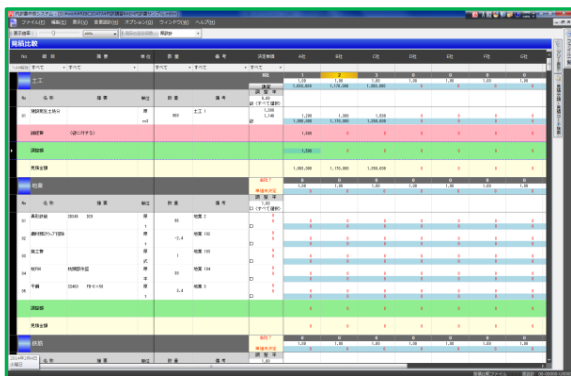
品名	単位	数量	単価	金額	延べ	延べ	延べ
鉄筋	kg	1	8,400	8,400.00	鉄筋	kg	11,700.00
コンクリート	m ³	1	3,744	3,744.00	コンクリート	m ³	11,700.00
砂	m ³	1	2,376	2,376.00	砂	m ³	11,700.00
砕石	m ³	1	300	0	砕石	m ³	11,700.00
その他	kg	1	792.00	792.00	その他	kg	11,700.00
計				8,400.00			

-- 見積項目等の直接入力 --

- ▶ 見積項目や入力追加事項を直接内訳明細内に入力することができます。また、見積単価は外部データ(Excel)を取り込むこともできます。

-- 見積価格の比較 --

- ▶ 見積比較機能を利用し、見積価格を比較決定し、内訳書に反映することができます。



品名	単位	数量	単価	金額	延べ	延べ	延べ
鉄筋	kg	1	8,400	8,400.00	鉄筋	kg	11,700.00
コンクリート	m ³	1	3,744	3,744.00	コンクリート	m ³	11,700.00
砂	m ³	1	2,376	2,376.00	砂	m ³	11,700.00
砕石	m ³	1	300	0	砕石	m ³	11,700.00
その他	kg	1	792.00	792.00	その他	kg	11,700.00
計				8,400.00			

-- 端数処理の設定 --

- ▶ 計算金額の合計に端数処理を設定することが可能です。処理を行う段階も設定することができます。

-- 変更設計の対応 --

- ▶ 数量欄、金額欄は、前回設計、今回設計、差額の3段表示になります。
- ▶ 最終数量または増減数量を入力することができます。
- ▶ 変更 10 回まで入力することができます。
- ▶ 変更の発生していない行の金額は、印刷時に合計金額を一式表示させることができます。

-- 出来高設計書 --

- ▶ 数量欄は、原設計、出来高の2段表示になります。
- ▶ 金額欄は、原設計金額、率、出来高金額の3段表示になります。
- ▶ 行毎に出来高の率または数量、金額を入力することができます。

-- データのリンク(ジャンプ) --

- ▶ 設定条件により、関連しているデータは全てリンクされ、操作、確認が容易です。

-- フィルタリング機能 --

- ▶ 入力・登録した各種の項目毎にフィルタ機能による条件指定の抽出が可能です。内容のチェック等に利用できます。
- ▶ 単価の出典根拠を画面で確認することができます。

-- スライド額算出 --

- ▶ スライド計算機能により、スライド額の算出ができます。

データの利用について

■ 内訳書作成システムで使用可能なデータ

内訳書作成システムで使用可能なデータは以下の通りです。

● 標準単価データ

内訳書作成システムで利用する基本データになります。標準単価作成システムにより計算された公共建築工事標準単価（複合、市場、市場補正等）が収録されたデータになります。一次単価（材料、労務等）も含まれている場合があります。RIBC のセキュリティ機能設定のレベルにより、閲覧できる範囲が異なります。

● 歩掛りデータ

標準単価作成システムにて単価を算出する際に利用した「歩掛り」が収録されたデータです。RIBC のセキュリティ機能設定のレベルにより、閲覧できる範囲が異なります。

● 内訳名称データ

内訳書作成システムに搭載されている「公共建築工事内訳書標準書式」以外の独自内訳名称を利用する際に必要となるデータです。

● 共通費情報データ

内訳書作成システムに搭載されている共通費計算機能（「公共建築工事共通費積算基準」）とは異なる計算（率の変更等）を行う際に利用するデータです。

■ データの貸与について

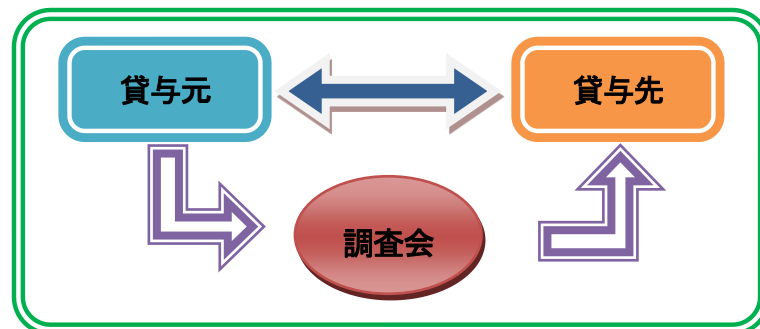
内訳書作成システムを所有する市町村または公共機関が、都道府県や上位機関等より標準単価データの貸与を受けて利用する場合には、下記の諸条件を協議し決定して頂くことになります。

- ① データ利用の要請 / 認可、承諾
- ② データの貸与方法 ※1
- ③ 調査会との調整 ※2
- ④ その他利用に関する取り決め等

※1 データの貸与方法については、直接授受する方法以外にも（一財）建設物価調査会または（一財）経済調査会より代理納品する方法もありますので、詳細は貸与先と協議して下さい。

※2 使用する単価データに対する利用料が発生します。詳細は両調査会にお問合せ下さい。

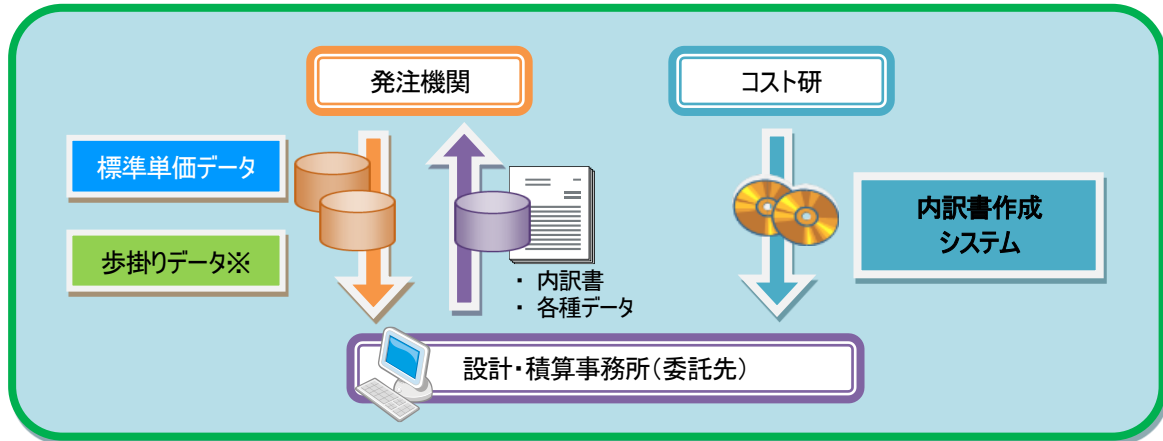
< イメージ例 >



設計・積算事務所への業務委託

■ 内訳書の項目や数量の入力等を設計・積算事務所へ業務委託する場合

数量入力等を外部発注する際には、入力に必要な各種データを委託先に貸与し、委託先は使用するシステムをコスト研と契約して準備します。



※ 歩掛りデータは委託内容により貸与するかどうか判断します

■ 設計・積算事務所の参照制限

発注機関より貸与された「標準単価データ」は、設計・積算事務所のシステムで閲覧すると RIBC のセキュリティ設定により、単価は「0（ゼロ）円」の表示になります。

■ システムの動作環境

対応 OS ※1	Windows 10 Windows 8.1
その他 必須システム	. NET Framework4.5.2 以上

※1 最新の動作環境については当研究所 HP にて確認してください。

※2 PC/AT 互換機以外のハードウェア、または、仮想環境での動作確認は行っていません。

■ 内訳書作成システム

- 内訳書作成システムで作成した内訳設計書の印刷イメージ
必要に応じて、金抜きや種別毎の印刷等を設定できます。

掲載	平成〇〇年〇〇月〇〇日
質問	平成〇〇年〇〇月〇〇日
入札	平成〇〇年〇〇月〇〇日
工期	平成〇〇年〇〇月〇〇日
	平成〇〇年〇〇月〇〇日

RIBC講習会サンプル内訳書

工事名称 建築工事
 〇〇〇〇建築工事 予定価格内訳明細書
 工事場所 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地
 工期 ▲▲期
 平成〇〇年〇〇月〇〇日から
 平成〇〇年〇〇月〇〇日まで
 発注者

表紙・直接工事費等

行 号	名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
	直接仮設	1	式	17,566,700	001
	土工	1	式	5,240,020	001

行 号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
01	コンクリート	埋り方	1	式		268,700	001
02	型枠	壁出し	1	式		1,412,000	002
03	鉄骨	養生	1	式		896,400	003
04	防水	壁体清掃 換気材付	1	式		4,527,000	004
05	タイル	埋込等	1	式		110,200	005
06	屋根及びとい	外部足場	1	式		3,030,000	006
07	金属	内装躯体足場	1	式		214,900	007
08	左官	内装仕上足場	1	式		5,508,000	008
09	舗装	災害防止	1	式		1,062,000	009
10	塗装	仮設材運搬	1	式		537,500	010
	内外装	計				17,566,700	
	ユニット及びその他						
	計						

名 称	工期	直接工事費 ①	率 ②	増減率 ③	共通仮設費率 ④=②+③	補正係数 ⑤	補正係数 ⑥	共通仮設費 ⑦=①×④×⑤×⑥
構築工事 新築工事	12.0	133,688,172	3.71	0.00	3.71	1.00	1.00	4,959,831

名 称	率 ①	増減率 ②	現場管理費率 ④=②+③	補正係数 ⑤	現場管理費 ⑥=①×④×⑤	
構築工事 新築工事 その他工事	145,972,903	11.47	0.00	11.47	1.00	16,513,691

名 称	工事原価 ①	率 ②	増減率 ③	一般管理費等 率④=②+③	前払金支出割合 補正係数⑤	一般管理費等 ⑥=①×④×⑤	工事総括 ⑦=①+⑥
構築工事 新築工事	160,486,594						
構築工事 新築工事 仮設工事 その他工事	15,200						
電気設備工事 新築工事	178,929						
その他工事	0						
小計 (率対象)	160,680,723						
電気設備工事 新築工事	15,262,992						
小計 (率対象)	15,262,992						
機械設備工事 新築工事	32,618,142						
小計 (率対象)	32,618,142						
合計 (率対象)	208,561,857	9.60	0.00	9.60	1.00	20,021,938	228,583,795
調整						▲83,795	▲83,795
計	208,561,857					19,938,143	228,500,000

共通費関連